

記入例 (様式1)
【建築物の建築】

窓口受付時に記入

年 月 日

小平市長 殿

申請者 住所 東京都小平市小川町二丁目1333番
氏名 小平 太郎
電話番号 〇〇-〇〇-〇〇

(法人の場合は、主たる事務所の所在地、名称、代表者の氏名及び電話番号)

代理人氏名及び連絡先 株△〇ホーム 小平ぶるべー
東京都小平市小川町〇丁目〇番〇
電話 〇〇-〇〇-〇〇

風致地区名称を記入

風致地区内行為許可申請書
(建築物の建築の場合)

代理人が申請する場合に記入

(例)青梅街道 風致地区内における行為の許可を受けたいので、小平市風致地区条例第3条第1項の規定により、下記のとおり関係図書を添えて申請します。

記

1 行為の場所 (地名地番) 小平市 小川町 〇丁目 〇番 〇
(住居表示) 小平市 小川町 〇丁目 〇番 〇号

2 建築物の建築の内容

未定の場合は記入不要

種別	新築・改築・増築・移転	敷地面積	150.00 m ²
構造	木造	建築面積	50.00 m ²
階数	地上 2 階・地下 0 階	建物用途	一戸建ての住宅

壁面後退距離	方向	距離		
		方向	距離	
道路側	北	2.488 m	西	2.600 m
		m		m
隣地側	南	1.580 m	南東	1.655 m
	東	2.553 m		m
高さ		8.552 m	建ぺい率	33.33 %

3 工事着手予定日 令和〇〇年 〇月 〇日
4 工事完了予定日 令和〇〇年 〇月 〇日

着手予定日は申請日より3週間以降の日付を記入

5 施工者の住所、氏名及び電話番号

東京都小平市小川町〇丁目〇〇
(株)〇×建設 代表取締役 小平花子
電話 〇〇-〇〇-〇〇

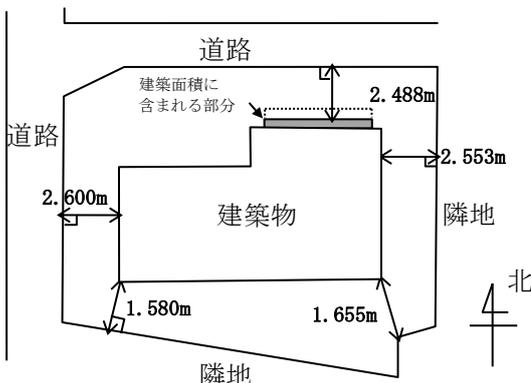
施工者が未定の場合は「未定」と記入

端数処理について

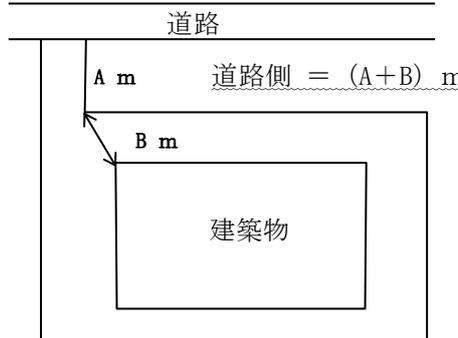
- 面積：小数点以下2位まで有効とし、3位以下切捨
- 建ぺい率：小数点以下2位まで有効とし、3位以下切捨
- 距離、高さ：小数点以下3位まで有効とし、4位以下切捨

【参考】壁面後退距離の取扱い

壁面後退距離は有効寸法（建物の外壁面から敷地境界線までの距離）で最短のものを、各方向記入してください。なお、庇・バルコニー等で建築面積に算入される部分がある場合は、その算入部分端から敷地境界線までを壁面後退距離とします。



※旗竿状敷地の場合（道路側壁面後退距



記入例 (様式1)
【 建築物の建築 】
(風致地区の内外にまたがる場合)

窓口受付時に記入

年 月 日

小平市長 殿

申請者 住所 東京都小平市小川町二丁目1333番
 氏名 小平 太郎
 電話番号 〇〇-〇〇-〇〇

(法人の場合は、主たる事務所の所在地、名称、代表者の氏名及び電話番号)

代理人氏名及び連絡先 株△〇ホーム 小平ぶるべー
 東京都小平市小川町〇丁目〇番〇
 電話 〇〇-〇〇-〇〇

風致地区名称を記入

風致地区内行為許可申請書
 (建築物の建築の場合)

代理人が申請する場合に記入

(例)青梅街道 風致地区内における行為の許可を受けたいので、小平市風致地区条例第3条第1項の規定により、下記のとおり関係図書を添えて申請します。

記

1 行為の場所 (地名地番) 小平市 小川町 〇丁目 〇番 〇
 (住居表示) 小平市 小川町 〇丁目 〇番 〇号

2 建築物の建築の内容

未定の場合は記入不要

風致内と全体を分けて記入

種別	新築・改築・増築・移転	敷地面積	風致内 80.00㎡ 全体(150.00㎡)
構造	木造	建築面積	風致内 30.00㎡ 全体(58.55㎡)
階数	地上 2 階・地下 0 階	建物用途	一戸建ての住宅

壁面後退距離		方向		距離	
		北	西	東	南
道路側	北	2.488 m	2.600 m		
	西				
隣地側	東	2.400 m			
	南				
高さ		8.552 m	建ぺい率	風致内 37.50% 全体(39.03%)	

3 工事着手予定日 令和〇〇年 〇月 〇日
 4 工事完了予定日 令和〇〇年 〇月 〇日
 5 施工者の住所、氏名及び電話番号

着手予定日は申請日より3週間以降の日付を記入

東京都小平市小川町〇丁目〇〇
 株□×建設 代表取締役 小平花子
 電話 〇〇-〇〇-〇〇

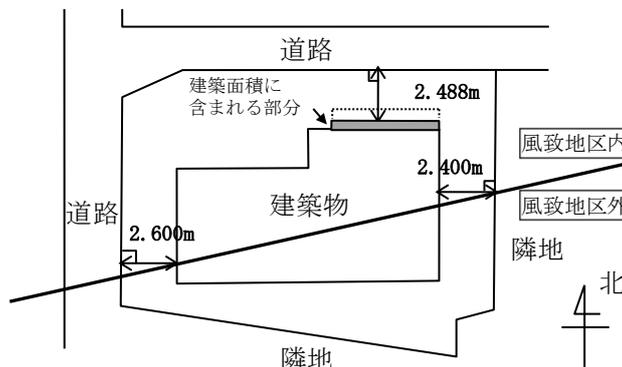
施工者が未定の場合は「未定」と記入

端数処理について

- 面積：小数点以下2位まで有効とし、3位以下切捨
- 建ぺい率：小数点以下2位まで有効とし、3位以下切捨
- 距離、高さ：小数点以下3位まで有効とし、4位以下切捨

【参考】壁面後退距離の取扱い (風致地区の内外にまたがる場合)

壁面後退距離は有効寸法(建物の外壁面から敷地境界線までの距離)で最短のものを、各方向記入してください。なお、庇・バルコニー等で建築面積に算入される部分がある場合は、その算入部分端から敷地境界線までを壁面後退距離とします。



記入例 (様式1)
【 工作物の建設 】
(店舗看板の設置)

窓口受付時に記入

年 月 日

小平市長 殿

申請者 住 所 東京都小平市小川町二丁目1333番

氏 名 小平 太郎

電話番号 〇〇-〇〇-〇〇

(法人の場合は、主たる事務所の所在地、名称、代表者の氏名及び電話番号)

代理人氏名及び連絡先 (株)△〇ホーム 小平ぶるべー
 東京都小平市小川町〇丁目〇番〇
 電話 〇〇-〇〇-〇〇

代理人が申請する場合に記入

風致地区名称を記入

風致地区内行為許可申請書
 (建築物の建築以外の場合)

(例)青梅街道 風致地区内における行為の許可を受けたいので、小平市風致地区条例第3条第1項の規定により、下記のとおり関係図書を添えて申請します。

記

- 1 行為の場所 (地名地番) 小平市 小川町 〇丁目 〇番 〇
 (住居表示) 小平市 小川町 〇丁目 〇番 〇号
- 2 建築物の建築以外の行為の内容

小数点以下2位まで有効とし、3位以下切捨て

未定の場合は記入不要

施工区域面積			3.95 m ²
施工理由	(例) 店舗看板設置のため	工作物の名称、数量、規模及び形態 (高さ、面積等)を記入	

工作物の建設	規模及び形態	ポール看板 1基 高さ10.000m 表示面積 8.00m ² 壁面看板 1基 高さ3.500m 表示面積 10.00m ²			
宅地の造成等	盛土面積	m ²	盛土量	m ³	
	切土面積	m ²	切土量	m ³	
木竹の伐採	既存本数	本	伐採本数	本	移植本数
その他の行為	色彩の変更 ・ 水面の埋立て ・ 土石の類の採取 ・ 屋外における土石、廃棄物又は再生資源の堆積				

- 3 工事着手予定日 令和〇〇年 〇月 〇日
- 4 工事完了予定日 令和〇〇年 〇月 〇日
- 5 施工者の住所、氏名及び電話番号

着手予定日は申請日より3週間以降の日付を記入

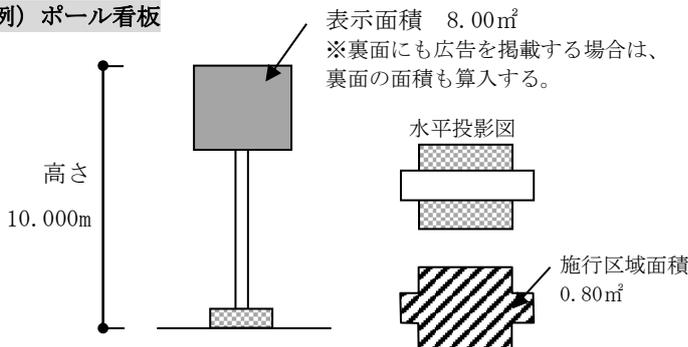
東京都小平市小川町〇丁目〇〇
 (株)□×建設 代表取締役 小平花子
 電話 〇〇-〇〇-〇〇

施工者が未定の場合は「未定」と記入

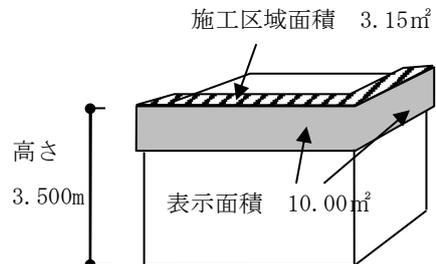
【参考】 施工区域面積と表示面積について

- 施工区域面積 ⇒ 工作物の水平投影面積
- 表示面積 ⇒ 広告等を掲載する面の合計面積

例) ポール看板



例) 壁面看板



記入例 (様式1) 【木竹の伐採】

窓口受付時に記入

年 月 日

小平市長 殿

申請者 住所 東京都小平市小川町二丁目1333番
氏名 小平 太郎
電話番号 〇〇-〇〇-〇〇

(法人の場合は、主たる事務所の所在地、名称、代表者の氏名及び電話番号)

代理人氏名及び連絡先 株△〇ホーム 小平ぶるべー
東京都小平市小川町〇丁目〇番〇
電話 〇〇-〇〇-〇〇

代理人が申請する場合に記入

風致地区名称を記入

風致地区内行為許可申請書
(建築物の建築以外の場合)

(例)青梅街道 風致地区内における行為の許可を受けたいので、小平市風致地区条例第3条第1項の規定により、下記のとおり関係図書を添えて申請します。

記

- 1 行為の場所 (地名地番) 小平市 小川町 〇丁目 〇番 〇
(住居表示) 小平市 小川町 〇丁目 〇番 〇号
- 2 建築物の建築以外の行為の内容

未定の場合は記入不要

木竹の伐採面積を記入

施工区域面積	53.50 m ²
施工理由	(例) 建築計画の支障となるため

伐採する理由を記入

工作物の建設	規模及び形態							
宅地の造成等	盛土面積		m ²	盛土量	m ³			
	切土面積		m ²	切土量	m ³			
木竹の伐採	既存本数	樹木	3本	伐採本数	樹木	3本	移植本数	0本
		竹林	45.00m ²		竹林	45.00m ²		
		生垣	1.50m ²			生垣	1.50m ²	
その他の行為	色彩の変更 ・ 水面の埋立て ・ 土石の類の採取 ・ 屋外における土石、廃棄物又は再生資源の堆積							

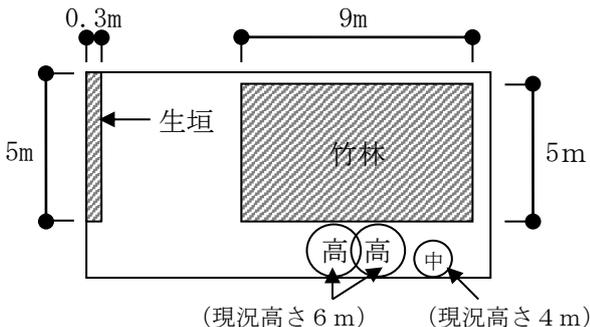
- 3 工事着手予定日 令和〇〇年 〇月 〇日
- 4 工事完了予定日 令和〇〇年 〇月 〇日
- 5 施工者の住所、氏名及び電話番号

着手予定日は申請日より3週間以降の日付を記入

東京都小平市小川町〇丁目〇〇
株□×建設 代表取締役 小平花子
電話 〇〇-〇〇-〇〇

施行者が未定の場合は「未定」と記入

【参考】伐採面積の算定方法について



◆ 樹木：現況高さにより分類し換算する。

現況高さ	分類	換算面積
5m超	高木	3.0m ²
3m超～5m以下	中木	1.0m ²
上記以外	低木	樹冠投影面積 又は0.6m ²

◆ 竹林、生垣：区域面積を算定する。

※生垣は、幅を0.6mとして算定しても良い。

伐採面積 = 高木3.0m²×2本+中木1.0m²×1本+竹林(9m×5m)+生垣(0.3m×5m)
= 6.00+1.00+45.00+1.50 = **53.50m²**